

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

応援することの意味

校長 香西雅斗

梅雨も後半に入り、科学と自然の散歩みちの緑は濃さを増し、暑い夏が間近に迫ってきました。そして中瀬中学校の70周年記念式典も迫ってきました。

式典は6月30日(土)の10時から行われます。ご案内のプリントでお知らせしました様に、前半は生徒と教職員・来賓で行いますが、後半は保護者と地域の方にも参加いただけます。ぜひ来校いただき、ともに中瀬中学校の70周年を祝っていただければ幸いです。後半は11時20分開始予定です。

さて先日の体育大会は、たくさんのお見どころがありました。中でも、学年を超えて応援する生徒たちの姿は、会場にすがすがしい風を吹かせていました。その応援について、応援がなぜ大切なのか、体育大会直後の朝礼で生徒たちに話したことを紹介します。

「人は一人で試練に立ち向かえるほど強くありません。孤独に弱い。周囲からの応援がとても大きな力になります。でも、同じように周囲が応援していても、頑張れる人とくじけてしまう人がいます。実はそれは、その人の強さとはあまり関係がありません。周りの人が、応援しているかどうかではなく、応援してくれると信じられるかどうかが大切なのです。自分が周りの人を本気になって応援していれば、周囲の人が応援してくれていることを信じられるのです。」

できないことで人を非難することは、自分よりできる人から切り捨てられることになります。だから、中瀬中生には人の悪口を言うのではなく、誰かがつらそうにしている時、手を差し伸べ、支えようとできる人になってほしいと願っています。

もちろん最初からそうできる人はいません。自信もないし、周囲を信頼することもなかなか難しいかもしれません。だからこそ“応援”を大切にしたいと思います。

最初は心がついていかないかもしれません。外側の形だけかもしれませんが、形から入り、それを積み重ねることで、心も整ってくるのではないかと考えています。

部活動の終了時刻について

以前に区からのお知らせがありましたが、7月より区内の学校はすべて、18:30 から明朝7:30の間は留守番電話対応となります(録音機能はありません)。

そこで中瀬中学校では、部活動の終了時刻を通年で18:00とし、18:10には生徒が校舎内にいない状態にします。

生徒たちには16:00に部活が始められるよう、帰りの学活や掃除にすぐ取り掛かることや、部活動終了後に道草をせず、すぐ帰宅するよう指導します。

なお緊急の場合は警察から区役所を通じて管理職に連絡が入ることになっています。これまでもお願いしていますように、何かあったらまず110番をお願いいたします。

体育大会

好天に恵まれた6月2日(土)、体育大会が行われました。参観して下さった来賓の方からは「生徒たちの体育大会への強い思いと集中力が伝わってきました。」とお褒めの言葉をいただきました。全学年4クラスとなり、縦割りクラスで色別になったことや、組体操に代わる男子の集団行動、女子のダンス、2年生の学年種目“中瀬チューチュートレイン”など



<男子の集団行動>



<女子のダンス>

の新しい取組も、おおむね好評でした。

今年は「勝つことよりも大切な事を見せます！」との実行委員長(3A)の言葉が全てだったと思います。閉会式の整理体操に対し、保護者・地域の方から拍手が起きたのも象徴的でした。三年生を中心に作文を紹介します。



<最後の選抜リレー、学年を超えて応援>

団結力が高まった最後の体育大会
三年A組

：予行の時、ムカデは4位で終わった。みんなの空気が悪くなり悲しかったし、焦っていた。すぐ本番、けんかをしているひまなどないのに。そんな時に、実行委員の二人が、一人一人の意見を聞き、次の練習で、一回も転ばず一周走れた。みんながやとと一つになれた気がした。当日、私はみんなへの応援も個人種目もがんばった。それでも優勝はできなかった。とても悔しかった。

でも、私たちのクラスは勝ったクラスにみんな笑顔で「おめでとう」と言えし、最後までみんな笑顔で終わった。

選抜リレーの時に、私は友達と一、三年の青組の人に声をかけて、青組みんなで大きな声で応援できた。まさにこれを「致団結」と言うんだなあと本当に思った。

最後の体育大会で、勝つことだけがすべてではないということも学べた。今回の体育大会では、身も心も成長できたと思った。



<ゴール前のデッドヒート>

最後の体育大会で学んだこと
三年B組

：一つは、勝たなくても楽しいことです。僕のクラスは、練習の時から勝てなくて、僕はずっと嫌だと思っていました。でも本番は、もちろん勝てないのは嫌でしたが、みんなが一生懸命競い合うことができ、とても楽しかったです。...

他に、人のために、みんなのために何かすることの大切さ、楽しさも学びました。用具係だったので、ハードル走や、玉入れをみんなより近くで見ることができました。みんな頑張っていたり、楽しんでいたりして、係をやって良かったと思いました。

：玉入れは、小学生が本気で思いっきり楽しんでいました。僕も、最初は玉が当たって痛くて嫌だったのに、だんだん楽しくなってきた。係の仕事にやりがいを感じました。...



団結、そして優勝へ
三年C組

僕がこの体育大会で印象に残ったことは三つあります。

一つ目は、三Cが一番力を入れていた大ムカデです。いろいろな人がたくさんの意見を出し合い、それについて考え、話し合いをしました。初めてのことでした。...

二つ目は、勝者と敗者ということです。大ムカデで勝った時、三Cは感無量でした。僕もうれしかったのですが、目に入ったのは、負けたクラスが涙を流していたことです。僕はすごく衝撃を受けました。敗者がいてこそ勝者がいるのだと思いました。...

三つ目は感謝です。僕は用具係で、仕事は大変でしたが、仕事をしている時、PTAの皆さんが一生懸命写真を撮っている姿を見ました。この大会は、みんなの協力があったてきたものだとわかりました。...

勝つことよりも大事なこと

三年D組

体育大会で私は勝つことがなかった。だから、私は一人倍勝ちにこだわっていた。そして、勝つことよりも大事なことを私は今年、学んだ。それは、負け方だ。

大ムカデ、最初はどのクラスよりも遅かった。転んでいた。やりたくない。「そんな声の方が多かった。でも、そんな中でも私たちは必死に練習した。他から見たらダサいと思うだろう。でもやった。結果、一位を取れるほどになった。チームジャンプは、明確な目標を立てて必死に練習した。

でも、本番どちらも一位は取れなかった。友達は泣いていた。あんなに頑張ったのに。」と言っていた。それが、一番大切なことではないか。もし、二週間、できないからと逃げていたら、私たちは悔し泣きすらできなかった。

勝ってみんなが笑顔で終わる。それが、だれもが望むベストな結果だ。私も一度は経験したかった。でも、私のいたクラスは負けても笑顔で終わっていた。泣いたけれど楽しかった。最高だった。「泣いていた友達が言っていた。

努力は結果として残らなければ意味がないと思っていた二年間。でも、それは違った。この体育大会が最高だったと思えば、形として残らなくても意味がある。負け続けた三年間。どれも最高の思い出だ。

絆ができた体育大会

二年A組

…中瀬チユーチウトレーン、リレー、チームジャンプに関しては、怪我をする人が続出して、話し合いをする中でも様々な意見がぶつかっていた。

しかし、練習を重ねだんだんまとまってきた、みんなやる気が出てきていた。実行委員の支えもあり、万全の状態でご本番を迎えた。

結果は自分たちの思い描いた様にはいかなかった。チームジャンプでは、全校で一位になれたが、学年と色別で準優勝。でも、実行委員長が言っていた「勝ち負けよりも大切なことがある」ということ、A組のチームワークが強くなった大会だったと思う。

あと一年経てば三年生としての大事な体育大会がやってくる。自分たちが満足でき、後輩に格好いい姿が見せられるように、これまでに上に気を引き締めて、練習から取り組んでいきたい。



<チームジャンプ>



<閉会式の後、3年生は全員で円陣中で音頭を取っているのは各クラス男子の実行委員>

仲間がいてこそその感動・楽しみ

一年A組

…ドンマイの声がいつものように響く。僕はこの声を聞いて、がんばってこられた。友達が仲間のために声を上げている姿を見て、自分もがんばろうと思えた。

僕は妙正寺川下りの船頭をやらせてもらった。…僕を押してくれた人のためにも、僕が踏んでいる男子のため、クラスのためにがんばらないといけないと思った。本番、緊張していなかったけど、焦ってしまった。…仲間のいかだが上手にできていない時にみんなと一緒に「よしっかりしる」と責めてしまった。その時のことを思い出したら、負けると思っていた。

でもそれは自分のことしか考えていない思いだった。チームで勝つのだから、仲間は大切だと思えた。勉強にせよ運動にせよ仲間がいてこそその楽しみだと改めて実感することができた。…

周りの人を笑顔にしよう

三年A組

予行の大ムカデ。私たちの出来は最悪だった。…私たちがやっと半周した時にゴールしているクラスもいて、もう嫌になった。

その日の五時間目、道徳。雰囲気はずよかった。みんな疲れていたし、とても落ち込んでいた。…そんな状態の私たちを見ながら、先生は言った。

毎年この時期になると見せる動画があるから、それを見て、考えて。」

どうしても大縄が跳べない男子の子と、そのクラスの話だった。その子と一緒に跳ぶのが優しさか、抜けてもらうのが優しさか。そのクラスと一緒に跳ぶことを選び、負けても一緒に跳べたことを心から喜んでいて。先生が言った。

勝ちよりも大切なことであると思うんだよね。自分以外の人、周りの人を笑顔にしようよ。」

私は思い出した。ムカデで転んで気持ちが落ちていた時に、私の前にいた友達が振り返って言ってくれたのだ。

あとちよつとだよ！がんばれ！！」本当にかっこいいと思った。自分も辛いはずなのに、人を気遣える人。あの時、その声のおかげで頑張ろうと思えたのだ。嬉しかったこと、忘れないようにしようと思った。

当日、結局私たちは2位だった。だけど、実行委員の高野君が超楽しかった。」と言ってくれた。私にはそれで十分だ。

これから部活、受験、たくさん大変なことが待っている。その時に、自分も辛くても人を気遣える人になりたい。周りの人を笑顔にしよう。「絶対に忘れない。」

最後は、体育大会直前の道徳の様子です。

4階渡り廊下を整備しました

4階の1年生の教室前の廊下と、新校舎4階の音楽室前の廊下は、他の階と異なり、直接つながっていません。以前より生徒から不便だという声が上がっていました。またそれだけでなく、音楽室で授業や集会を行う際の避難経路について、下の階から煙が上がってきた場合の対応に不安もありました。



そこで、これまで閉鎖していた4階の渡り廊下のフェンスにネットをかぶせ（右写真）、安全対策をした上で鍵を開け、ここを通路として使うことにします。原則として1年生のみの使用、また出入り口が狭いので、通路としてのみ使いここで立ち止まらないこととします。ひさしを設置することは法令上難しいので、雨の時はこれまで通り一度3階に降りて音楽室に行くことになります。

また、昨年度保護者の方から「新校舎の階段に手すりがあると良い」という意見をいただきました。安全面も考慮し、すでに設置しましたので報告させていただきます。

7月の予定							⑤…スクールカウンセラー出勤予定日
日	月	火	水	木	金	土	
1	朝礼 2	⑤ 3	4	5	6	7	
	2年理科出前授業	中瀬学級校外学習	1年フレンドシップスクール～6(金)	2年都学力調査	2年進路学習⑤⑥		
8	朝礼 9	⑤ 10	11	12	13	14	
		進路説明会⑤ 保護者会	PTA 役員会 小中合同研修会 (午前授業)		避難訓練 漢字検定	ICT公開授業 PTA 高校説明会	
15	海の日 16	⑤ 17	18	19	20	21	
			職員会議	全校美化	終業式⑤ (給食有り)	夏季休業日始	
22	23	24	25	26	27	28	
	夏季パワーアップ教室 3年三者面談始	夏季パワーアップ教室	夏季パワーアップ教室	夏季パワーアップ教室	3年三者面談終	小中学生未来サミット(セッション)	
29	30	31					

<8・9月の予定> 8/30(木)2学期始業式、引き取り訓練 9/6(木)3年幼稚園実習 10(月)～14(金)学校公開週間 11(火)桃五小、八成小6年生来校 12(水)2年マナー講習 13(木)杏掛小6年生来校 14(金)生徒会役員選挙 26(水)、27(木)中間考査 29(土)中瀬国際交流デー

CSの窓

5月、6月の学校運営協議会(CS)では、周年行事の進み具合や体育大会のこと、4階渡り廊下のこと、留守番電話と部活動のことが、話題となりました。体育大会については「一人一人みんな前向きで気持ちがよい」「見ていて、迫力があり面白かった」「ビオトープ委員の水まき良かったです」「集団行動、ダンス、見ごたえがありました」という声があがりました。また、7月に生徒会役員と行う懇談会の内容や、4階渡り廊下については保護者へ周知することなどが話し合われました。



<1年理科 中瀬中の生物>



<八成・桃五小と挨拶運動>



<1年エンカウンター先生の自己開示>